

第1学年 国語科学習指導案

日 時 平成22年9月30日(木) 5校時
学 級 1年3組 男子14名 女子17名 計31名
場 所 1年3組教室
授業者 教諭 大森 亜矢子

1 単元名 そうぞうをひろげてよもう

教材名 「くじらぐも」(光村図書・下)

2 単元について

(1)教材について

第1学年及び第2学年における「C読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子に気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる」ことである。これを受けて、本単元は、内容「ア 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること」「ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと」の指導事項を重視し指導していく。

本教材は、空を舞台に展開される物語であり、自分達と同じ一年生が主人公ということもあって、楽しく想像を広げていくことができる教材であると考えている。また、くじらぐもと子ども達の会話文の呼応や、雲に飛び乗る際の掛け声の繰り返しが特徴で、声に出したり、動作をつけたりして、読むことの楽しさを味わうことのできる教材でもある。

そこで、まず、実際に空を見たり、雲の様子について話し合ったりしながら、物語への想像を大きく膨らませていきたい。そして、くじらぐもと子ども達に分かれての役割読みや動作化を効果的に取り入れ、場面の様子をより豊かに想像して読むことができるよう学習を進めていきたい。

(2)児童について

子ども達は「おむすびころりん」の学習において、挿絵の読み取りや簡単な動作化をもとに、物語への想像を広げる学習を行った。また、「おおきなかぶ」では、次々に登場してくる人物の行動を、叙述をもとに読み取る学習を行い、登場人物になりきっての音読発表会に取り組んだ。

しかし、文章の中から登場人物の行動や会話を見つけ出すことはできても、そこから場面の様子を想像して読むことのできる児童はまだ少ない。また、児童にとって、くじらぐもと子ども達のような会話文の呼応は初めてであり、役割を意識しての読み進めが必要となってくる。

そこで、本単元では、くじらぐもや子ども達の役になって動作化したり、繰り返し音読したりしながら場面の様子を豊かに想像させていきたい。そして、物語の中の登場人物に同化して考えたり、読んだり、自らが読み取ったことを進んで表現したりする力をつけていきたい。

(3)指導にあたって

「とらえる」では、地上と上空から見た雲の様子について話し合い、くじらぐもが浮かぶ天への想像を十分に膨らませていきたい。また、挿絵を見ながら楽しく音読したり、初発の感想を交流し合ったりしながら、音読発表会をすることへの期待感をもたせていく。

「ふかめる」では、役割読みや視写を行いながら、くじらぐもと子ども達の行動や会話を中心に、場面の様子をしっかりと読み取らせていく。そして、音読や動作化をしながら想像の世界に浸らせ、その様子をよりはっきりとイメージして読むことができるようにしていきたい。ここでは、想像を楽しんでは声に出して読み、声に出して読んではまた想像を深めるということを繰り返していく。さらに、くじらぐもに乗って空を旅する場面では、「うみのほうへ、むらのほうへ、まちのほうへ。」という叙述から、物語への想像を自由に膨らませて読むことができるようにしたい。

「まとめる・ひろげる」では、各場面での読み取りや、動作化で広げられた想像をもとに、音読発表会に取り組ませていきたい。また、他のグループの発表を興味をもって聞くことにより、友達のよさを見つけ、伝え合うことができるようにしていきたい。

(4)活用させたい「知識・技能」

既習事項● 前単元	既習事項の活用
<p>【B読むこと】</p> <p>●場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読む。</p> <p>●語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読する。</p>	<p>【B読むこと】</p> <p>・各場面の様子や、登場人物の行動を把握しその様子を豊かに想像しながら読む。</p> <p>・明瞭な発音で文章を読む。</p> <p>・ひとまとまりの語や文として読む。</p>

3 単元の目標と評価規準

領域	目標	評価規準
国語への関心・意欲・態度	○物語に関心をもち、想像したり、声に出して読んだりしようとする。	・くじらぐもへの想像を広げ、楽しんで読んでいる。 ・物語への感想をもつことができる。
読む能力	○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。(ア) ◎場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる。(ウ)	・明瞭な発音で文章を読んだり、ひとまとまりの語や文として読んだりしている。 ・登場人物の様子について、書いたり、話したりしながら、内容を読み取っている。
言語についての知識・理解・技能	○言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。(伝イ(ウ))	・語のまとまりに気をつけて音読している。

4 単元の指導・評価計画(10時間扱い)

段階	時間	目標	○学習課題 ・主な学習活動 ☆主な支援の手だて	評価規準 【評価の観点】 (評価方法)
とらえる	1	挿絵から登場人物をとらえて物語の展開を想像し、物語に関心をもちことができる。	○どんなおはなしなのだろう。 ・地上と上空から見た雲の様子について話し合う。 ・「くじらぐも」の挿絵を見て、何をしているところか想像し、挿絵を並べ替える。 ・範読を聞き、あらすじをとらえる。 ☆本文中に分からない言葉があれば、意味を教える。	くじらぐもへの想像を広げ、楽しんで読んでいる。 【関心・意欲・態度】 (観察・発言)
	2	物語への感想をもつことができる。	○どんながくしゅうをするのかかかんがえよう。 ・教師と一緒に全文を音読する。 ・「くじらぐも」を読んだ感想を書き、発表する。 ・音読発表会の見通しをもつ。 ☆どの場面が楽しかったか、その理由を対話しながら話させる。	物語への感想をもっている。 【関心・意欲・態度】 (ワークシート)
ふかめる	3	くじらぐもと出会った子ども達と、まねをするくじらの様子について、想像を広げて読むことができる。	○くじらぐもをみた子どもたちのようすをよみとろう。 ・課題を把握し、場面の音読をする。 ・子ども達とくじらぐもの動作を比較して視写し、役に分かれて動作化する。 ・くじらぐもが、子ども達のまねをする理由について話し合う。 ・役割音読をする。 ☆誰が何をしたか、主語と述語の関係を確かめるようにする。助詞「も」にも注目させ、くじらぐもが子ども達のまねをしていることを確認させる。	くじらぐもが子ども達のまねをする様子について書いたり、話したりしながら、内容を読み取っている。 【読む能力】 (発言・ワークシート)

ふかめる	4	くじらぐもと子ども達が呼び合う様子について、想像を広げて読むことができる。	○子どもたちがくじらぐもによびかけるようすをよみとろう。 ・課題を把握し、場面の音読をする。 ・子ども達とくじらぐもの様子を読み取る。 ・子ども達とくじらぐもに分かれて、動作化しながら音読する。 ・役割音読をする。 ☆「ここへ」という言葉から、子ども達とくじらぐもの位置関係を押さえさせる。	くじらぐもと子ども達が呼び合う様子について、書いたり、話したりしながら、内容を読み取っている。 【読む能力】 (発言・ワークシート)
	⑤ 本時	子ども達がくじらぐもに飛び乗ろうとする様子について、想像を広げて読むことができる。	○くじらぐもにとびのろうとする子どもたちのようすをよみとろう。 ・課題を把握し、場面の音読をする。 ・ジャンプする様子を読み取り、視写をする。 ・ジャンプする様子について、音読や動作化をしながら話し合う。 ・くじらぐもに飛び乗った時の様子について話し合う。 ☆ジャンプの高さと、会話文に着目させ、子ども達がくじらぐもに飛び乗ろうとする様子への想像を広げさせる。	子ども達がくじらぐもに飛び乗ろうとする様子について、書いたり、話したりしながら、内容を読み取っている。 【読む能力】 (発言・ワークシート)
	6	くじらぐもに乗った子ども達の様子について、想像を広げて読むことができる。	○くじらぐもにのった子どもたちのようすをよみとろう。 ・課題を把握し、場面の音読をする。 ・くじらぐもに乗った子ども達の様子を読み取る。 ・くじらぐもに乗ったつもりで、何が見えるか、友達とどんな話をしたかを想像し、発表する。 ☆挿絵を活用し、想像を広げさせる。	くじらぐもに乗った子ども達の様子について、書いたり、話したりしながら、内容を読み取っている。 【読む能力】 (発言・ワークシート)
	7	くじらぐもと別れる時の、子ども達とくじらぐもの様子について、想像を広げて読むことができる。	○くじらぐもとわかれる子どもたちのようすをよみとろう。 ・課題を把握し、場面の音読をする。 ・先生が何に驚いたのか読み取る。 ・くじらぐもと別れる子ども達の様子を読み取る。 ・くじらぐもと別れる子ども達の様子について、音読や動作化をしながら話し合う。 ☆くじらぐもと子ども達の位置関係を押さえ、想像を広げることができるようにする。	くじらぐもと別れる子ども達の様子について、書いたり、話したりしながら内容を読み取っている。 【読む能力】 (発言・ワークシート)
まとめる・ひろげる	8	役に分かれ、語のまとまりに気を付けながら音読練習をすることができる。	○おんどくはっぴょうかいのれんしゅうをしよう。 ・班ごとに発表場面と役割を決める。 ・音読練習を行う。 ☆聞き手に分かりやすいよう、姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意して、はっきりした発音で話すよう促す。	明瞭な発音で文章を読んだり、ひとまとまりの語や文として読んだりしている。 【読む能力】 (発表練習)
	9・10	役に分かれ、語のまとまりに気を付けながら音読発表をすることができる。	○おんどくはっぴょうかいをしよう。 ・班ごとに音読を発表する。 ・友達の発表でよかったことを話し合う。 ☆聞き手に分かりやすいよう、姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意して、はっきりした発音で話すよう促す。	明瞭な発音で文章を読んだり、ひとまとまりの語や文として読んだりしている。 【読む能力】 (発表)

5 本時の指導（5 / 10）

(1) 目標

子ども達がくじらぐもに飛び乗ろうとする様子について、音読や動作化を通して、想像を広げて読むことができる。

(2) 本時の指導にあたって

本時は、子ども達がくじらぐもに飛び乗ろうとする様子について、想像豊かに読み取っていく学習である。役割読みや視写を行い、登場人物の行動や会話をしっかりと読み取らせていきたい。そして、音読や動作化を行いながら、場面の様子をよりはっきりと想像して読むことができるようにしたい。具体的な手立てを通して、次の3点を考えている。

【仮説との関わり】

手立て1・音読や動作化を取り入れ、場面の様子を深く想像させる。

手立て2・音読や動作化により、読み深められた考えを全体で交流させる。

手立て3・「まとめる」の段階において、本時の学習で分かったことをたずね、学びのよさに気付かせていく。

(3) 展開

段階	学習内容・学習活動	支援の手立てと評価の観点	準備・資料
とらえる3分	<p>1 前時を想起する。</p> <p>2 学習課題を確認する。</p>	<p>・前時の学習で、くじらぐもに空へと誘われたことを振り返らせ、本時はくじらぐもに飛び乗る場面であることをおさえる。</p>	
	<p>くじらぐもとびのろうとする子どもたちのようすをよみとろう。</p>		
たしかめる36分	<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 学習範囲を音読する。 ・役割読み</p> <p>(2) くじらぐもに飛び乗るために何をしたのか読み取る。 ・サイドラインを引いての読み取り ・視写</p> <p>(3) 一回目と二回目のジャンプの様子を読み取る。 ・サイドラインを引いての読み取り ・二回のジャンプの動作化</p> <p>(4) 二回ジャンプした後の様子について話し合う。 ・二回のジャンプの動作化 ・二回ジャンプした後の様子について話し合う。</p>	<p>・児童は子ども達とくじらぐもの役に分かれ、教師は地の文を音読する。</p> <p>・どのように飛び乗ろうとしたか、どんな声をかけたか確認し、キーワードに絞って視写させる。</p> <p>・ジャンプの回数、高さ、何回目に飛び乗ることができたか、叙述に基づいて読み取らせる。</p> <p>・30センチ、50センチの高さをポールで確認し、二回目までのジャンプの様子を動作化しながら音読させる。</p> <p>・二回目に諦めなかった理由を考えさせ、飛び乗る対象がくじらぐもであることをおさえる。</p> <p>・教師がくじらぐも、児童は子ども達の役で二回のジャンプを動作化し、物語の登場人物に同化して考えることができるようにする。</p> <p>・児童の動作化から、表情や声の大きさ、動きの変化を見出し、より深く内心を引き出していく。</p>	<p>ワークシート</p> <p>30・50センチのポール</p>

	<p>(5) 三回ジャンプした後の様子について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三回のジャンプの動作化 ・ 三回ジャンプした後の様子について話し合う。 ・ 吹き出しへの書き込み <p>【活用】手立て1</p> <p>音読や動作化を取り入れ、場面の様子を深く想像させる。</p> <p>(6) 吹き出しへの書き込みを全体で交流する。</p> <p>【活用】手立て2</p> <p>音読や動作化により、読み深められた考えを全体で交流させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師がくじらぐも、児童は子ども達の役で三回のジャンプを動作化させる。 ・ 動作化させることで、飛び乗った子ども達に同化させ、場面の様子について話し合わせたい。 ・ 吹き出しの話し合いをもとに、飛び乗れた理由や、飛び乗った時の様子を、さらに詳しく吹き出しに書かせたい。 ・ 吹き出しへの書き込みを理由もつけて発表させ、場面の様子についてより深く考えを交流できるようにする。 <p>【目指す姿】</p> <p>くじらぐもに飛び乗ろうとする場面の様子を想像を広げて読むことができる。</p> <p>【評価規準】（読むこと）</p> <p>子ども達がくじらぐもに飛び乗ろうとする様子について、書いたり、話したりしながら、内容を読み取っている。（発言・ワークシート）</p> <table border="1" data-bbox="703 891 1283 1099"> <tr> <td data-bbox="703 891 954 949">《具体的評価規準》</td> <td data-bbox="954 891 1283 949">努力を要すると判断された児童への具体的な手立て</td> </tr> <tr> <td data-bbox="703 949 954 1099">B</td> <td data-bbox="954 949 1283 1099">ジャンプの様子についての読み取りを、板書をもとに振り返らせる。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="703 1099 954 1167">くじらぐもに飛び乗ろうとする様子を書いたり話したりしながら読みとっている。</td> <td data-bbox="954 1099 1283 1167"></td> </tr> </table> <p>【評価規準Bの例】</p> <p>〇くじらぐもとびのることができてうれしいな。</p>	《具体的評価規準》	努力を要すると判断された児童への具体的な手立て	B	ジャンプの様子についての読み取りを、板書をもとに振り返らせる。	くじらぐもに飛び乗ろうとする様子を書いたり話したりしながら読みとっている。		
《具体的評価規準》	努力を要すると判断された児童への具体的な手立て								
B	ジャンプの様子についての読み取りを、板書をもとに振り返らせる。								
くじらぐもに飛び乗ろうとする様子を書いたり話したりしながら読みとっている。									
<p>まとめ 6分</p>	<p>4 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己評価し、本時の学習で分かったことを発表する。 <p>【活用】手立て3</p> <p>学びのよさに気付かせていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「関心・意欲」、「理解」の2観点で評価し、本時の学習で分かったことをたずね、学びのよさに気付かせていく。 ・ 次時の学習への意欲づけを行う。 							

(4) 板書計画

<p>三回ジャンプした後の様子</p> <p>空に吹き飛ばされる挿絵</p>	<p>くじらぐもの挿絵</p> <p>二回ジャンプした後の様子</p> <p>「天までとどけ、一、二、三。」</p>	<p>「もっとたかく、もっとたかく。」</p> <p>「天までとどけ、一、二、三。」</p> <p>「天までとどけ、一、二、三。」</p> <p>「天までとどけ、一、二、三。」</p> <p>「天までとどけ、一、二、三。」</p> <p>「天までとどけ、一、二、三。」</p> <p>「天までとどけ、一、二、三。」</p>	<p>くじらぐもとびのろうとする子どもたちのようすをよみとろう。</p>
--	--	---	--------------------------------------